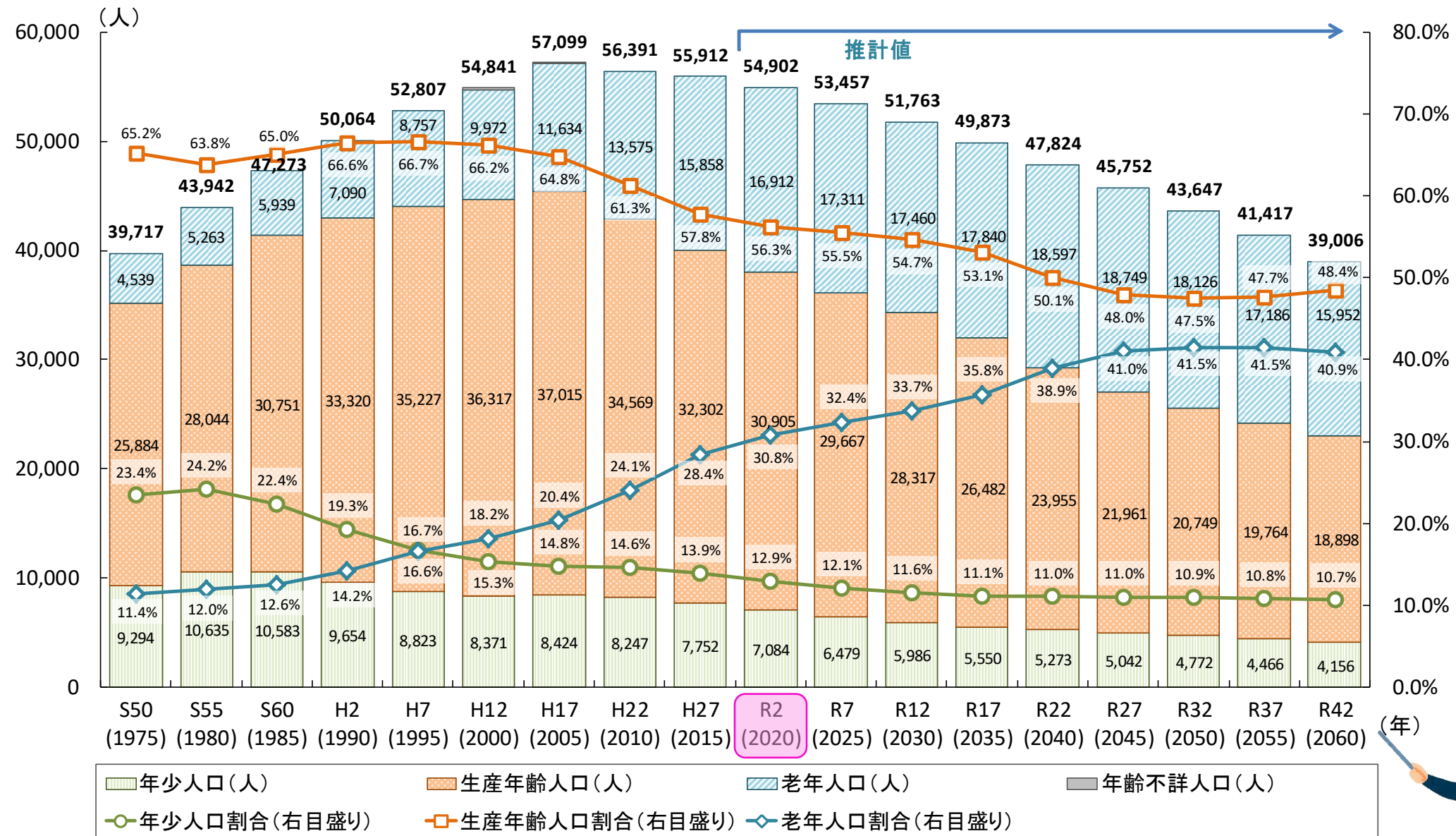


～若者に「選ばれるまち」の実現に向けて～



茅野市の人口推計

茅野市の将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所 準拠推計）



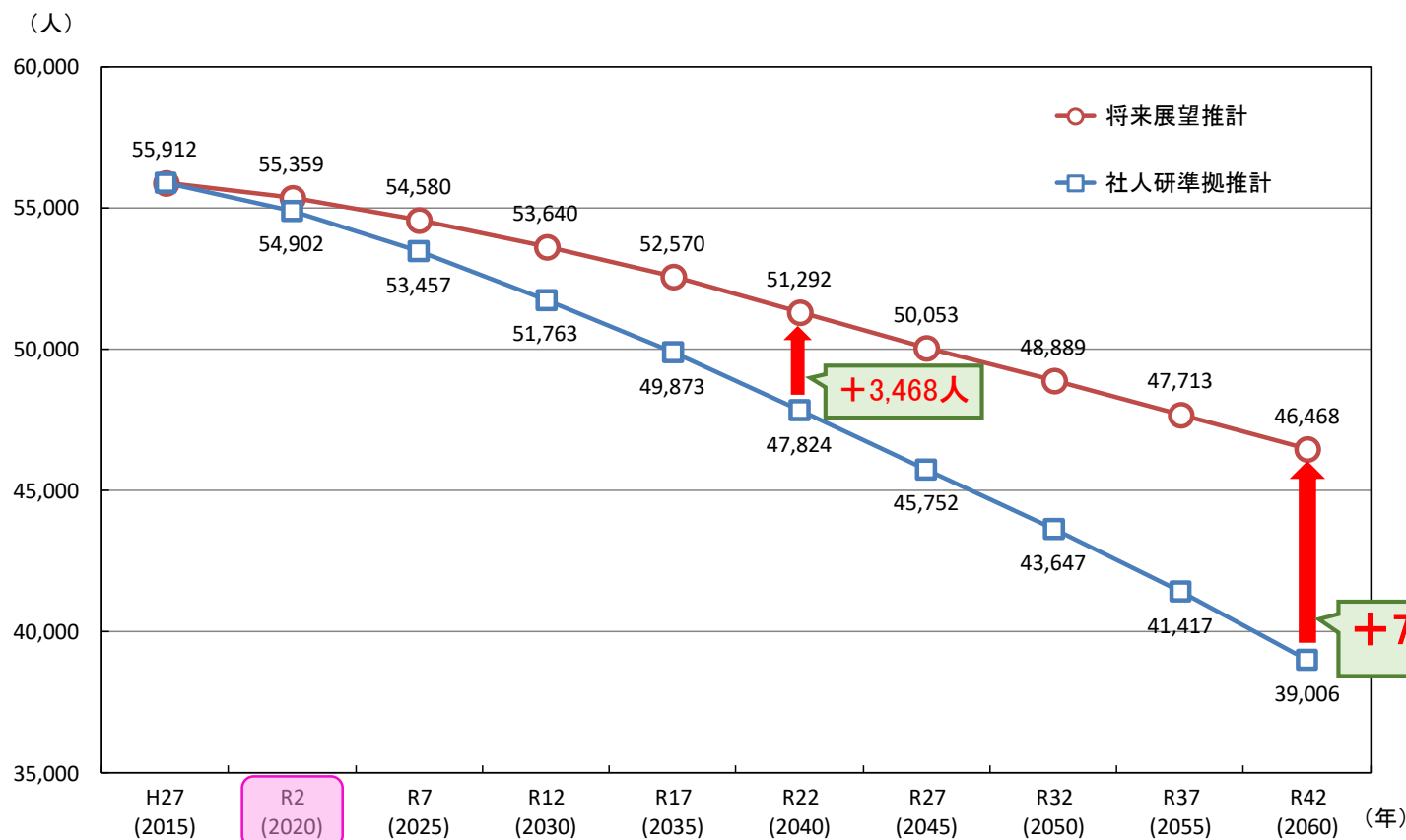
第2次地域創生総合戦略を策定

将来に向けて目指すまちの姿
人口減少に立ち向かうための具体的な事業と目標設定

第2次地域創生総合戦略とは



- 人口減少の克服に特化した、政策横断プロジェクト
- 「地域創生」に向けた具体的な施策や事業、その展開を定めた計画
- 計画期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）



(資料) H27(2015): 総務省統計局「平成27年国勢調査」
R2(2020)～R42(2060): 茅野市にて推計

人口減少・少子化がもたらす課題

若者がいなくなると... まち・生活

- ・企業の人手不足
- ・スーパーやコンビニエンスストア、チェーン店等の撤退
- ・バスや鉄道、タクシー等の公共交通をはじめとする生活サービスの縮小

生活が不便になる

若者がいなくなると... コミュニティー

- ・消防団の維持困難
- ・PTA活動縮小、地区行事縮小
- ・地区役員や公民館役員、保健補導員等のなり手不足

住民負担の増加

まちの活力の低下

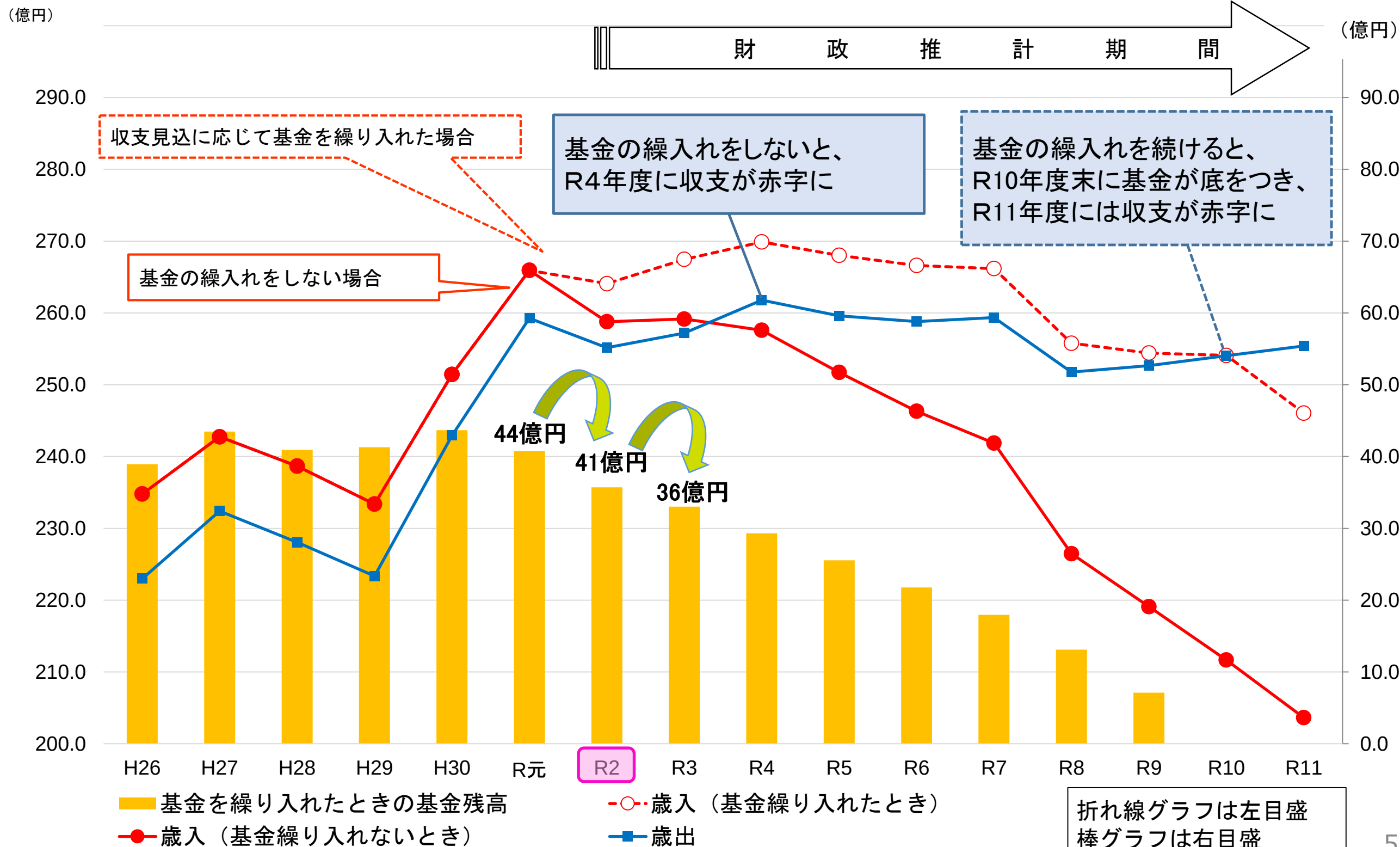
財政状況の悪化

生活が不便で住民の負担も多い「暮らしにくいまち」になると、より暮らしやすいまちを求めてますます都市部へ若者が流出

悪循環

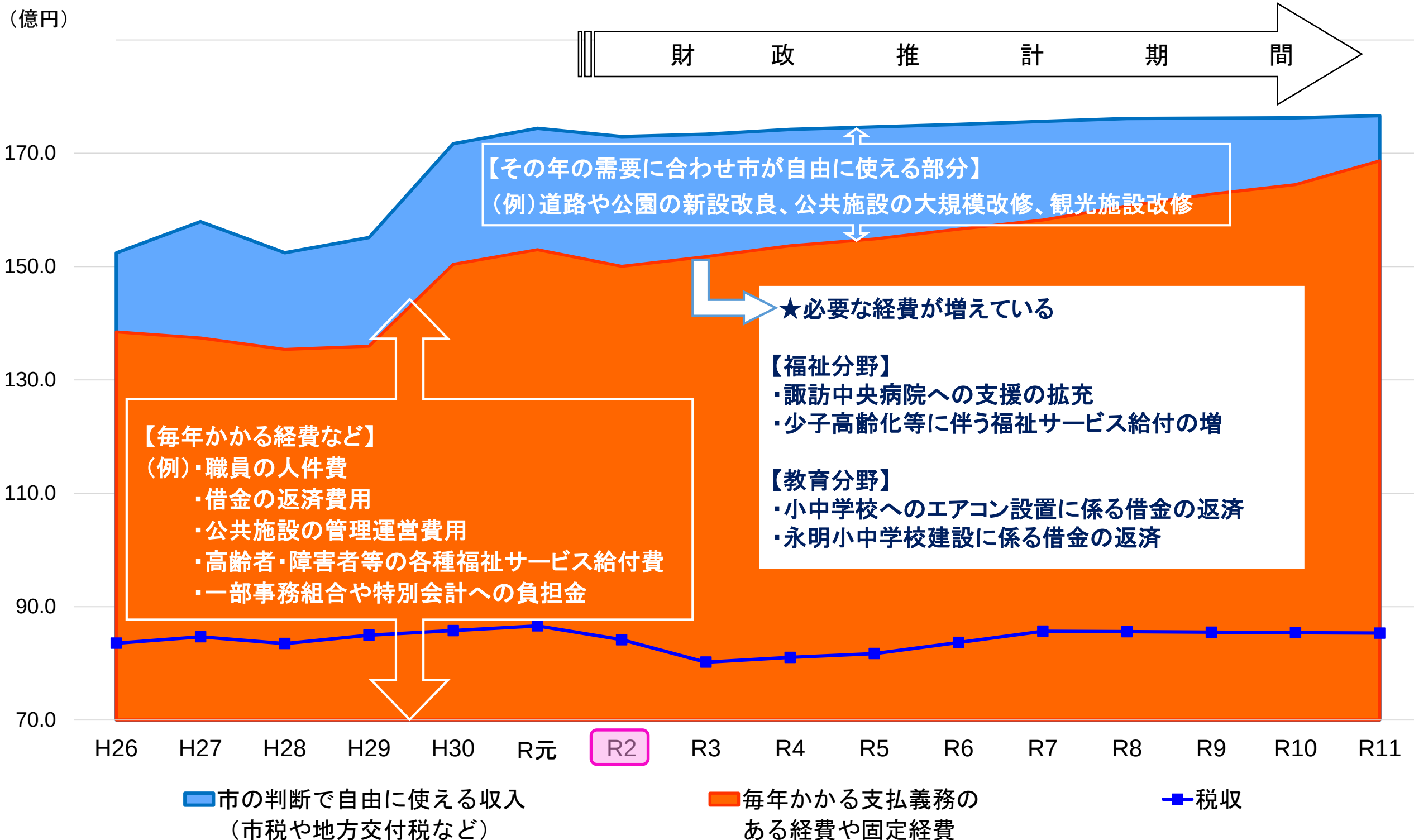
推計 茅野市の財政（一般会計）

歳入歳出総額の推移 — 基金に頼った財政運営に —



推計 茅野市の財政（一般会計）

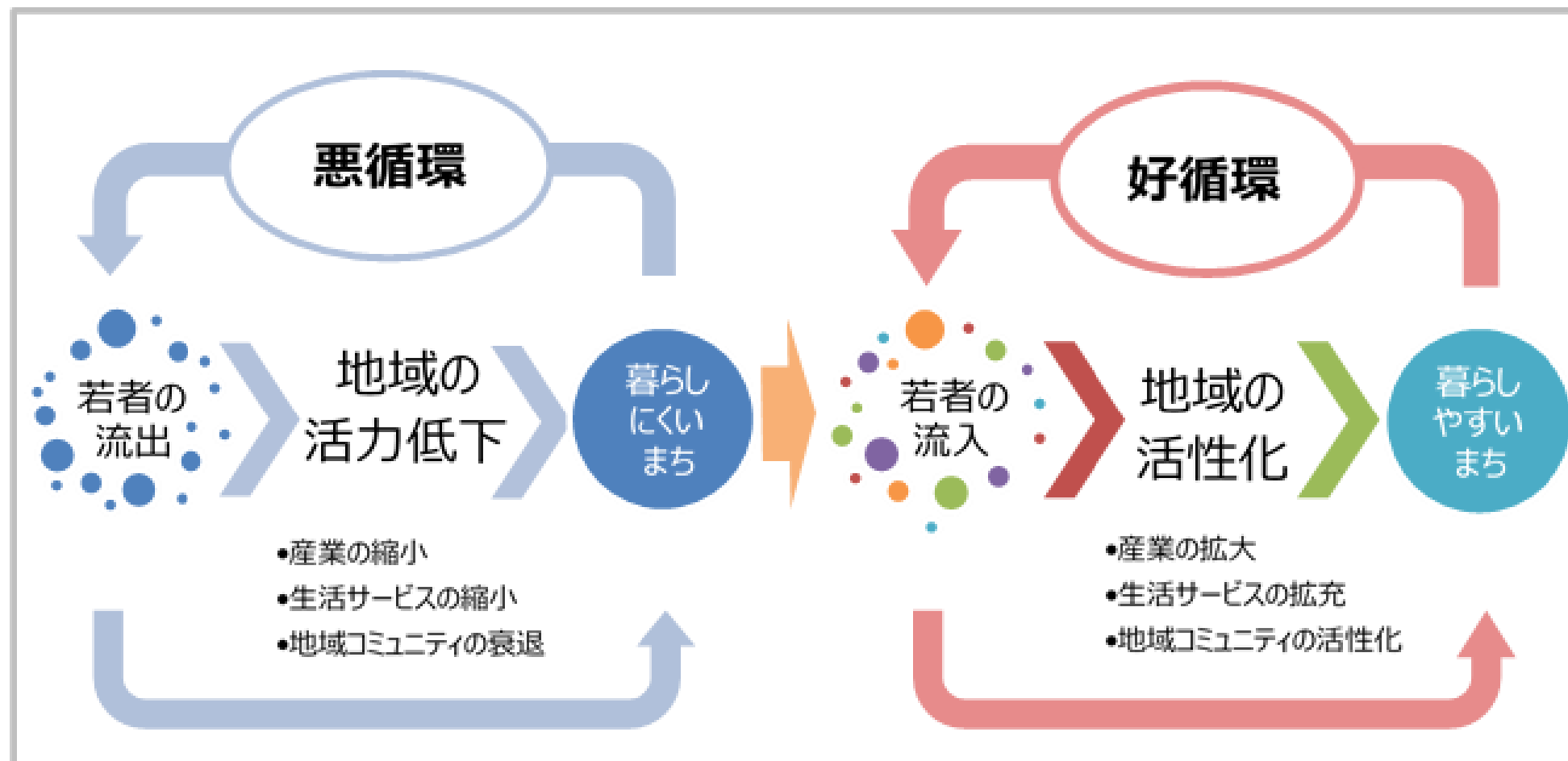
市が自由に使える収入とその使い道／税収の推移



目指すまちの姿 「若者に選ばれるまち」

若者に「選ばれるまち」は、若者の流入、経済の活性化、生活サービスの充実、住民負担の減少、市財政の安定化という好循環をもたらす

全ての市民にとって快適で暮らしやすいまち



第2次地域創生総合戦略により目指すまちの姿

若者に「選ばれるまち」の実現

若者に「選ばれるまち」実現に向けて

若者に「選ばれるまち」実現に向けた基本的な考え方

- ▶ 生活を維持するための仕事や生活を営む住まいの充実を図ります。
- ▶ 生活サービス、医療・福祉の充実を図ります。
- ▶ 子育て環境、防災対策の更なる充実を図ります。
- ▶ 茅野市の持つ自然環境の活用を図ります。
- ▶ 持続可能なまちづくりの実現に向けて、SDGs(持続可能な開発目標)を意識します。



若者に「選ばれるまち」実現に向けて

基本目標と横断的施策

茅野市を知り訪れ、茅野市に通い、茅野市に移り住むという人の流れを意識し、5つの基本目標の下、具体的な事業を実施するとともに、複数の基本目標にまたがる横断的施策を展開します。

関係人口の創出

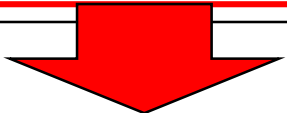
これまで		これから
「観光視点」 中心のアクション	 追加 相乗 効果	「ビジネスユース視点」 のアクション

基本目標

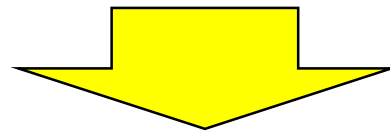
基本目標1	知りたい、訪れたいまちをつくる
基本目標2	通いたい、帰りたいまちをつくる
基本目標3	移り住みたい、住み続けたいまちをつくる
基本目標4	安心して出産・子育てができるまちをつくる
基本目標5	安心・安全、快適なまちをつくる

横断的施策

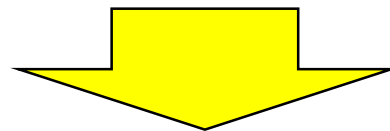
- (1) 茅野版DMO支援による新たな交流の創造
- (2) コワーキングスペースの活用による新しい働き方の創出
- (3) 産学公連携「スワリカブランド」創造事業の推進による新たな産業の創出
- (4) 多様な学び場の提供による子どもの豊かな生き方の創造
- (5) 茅野駅を基点に都市部と地方を人が行き交う環流の創造
- (6) 暮らしやすい未来都市・茅野の構築



人口の自然増は急激には訪れない

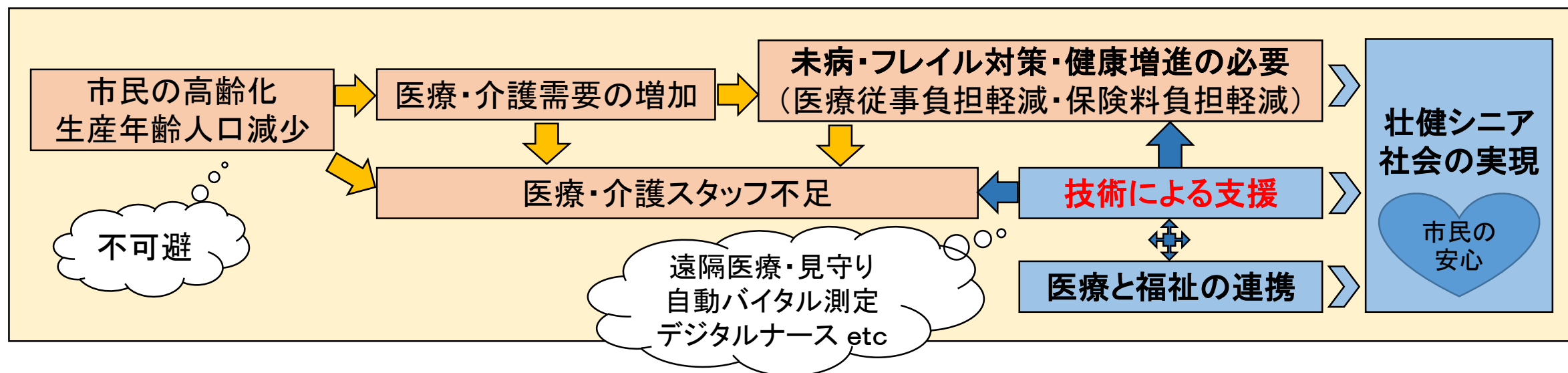


人口（担い手）減少を踏まえた施策展開が必要



AI、IoT、通信、様々な先端技術の積極的な活用

例） 地域医療・健康増進



要素となる事業



医療・介護

- ▶遠隔診療 ▶バイタル自動取得
- ▶デジタルナース ▶遠隔の患者見守
- ▶ウェルネスカルテ ▶フレイル対策



オンデマンド交通
交通最適化(MaaS)

- ▶オンデマンド交通による利便性向上
- ▶ハブ＆スポークによる交通最適化



ALL茅野アプリ
デジタル行政サービス

- ▶交流、情報のマッチング
- ▶結の醸成
- ▶行政サービスのデジタル化



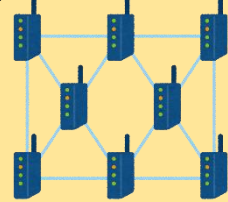
キャッシュレス
地域ポイント

- ▶キャッシュレスの促進
- ▶地域ポイントによる結の醸成
- ▶行政ポイント付与
- ▶ポイント活用による市民活動活性



テレワーク
ワーケーション

- ▶企業誘致と働く場所の拡大
- ▶様々な働き方の選択肢
- ▶関係人口(来訪者)増加



防災・見守りへの
通信技術活用

- ▶LPWA通信技術を活用した防災
- ▶LPWA通信技術を活かした見守り
- ▶通信技術の適材適所化

|| イコール

||

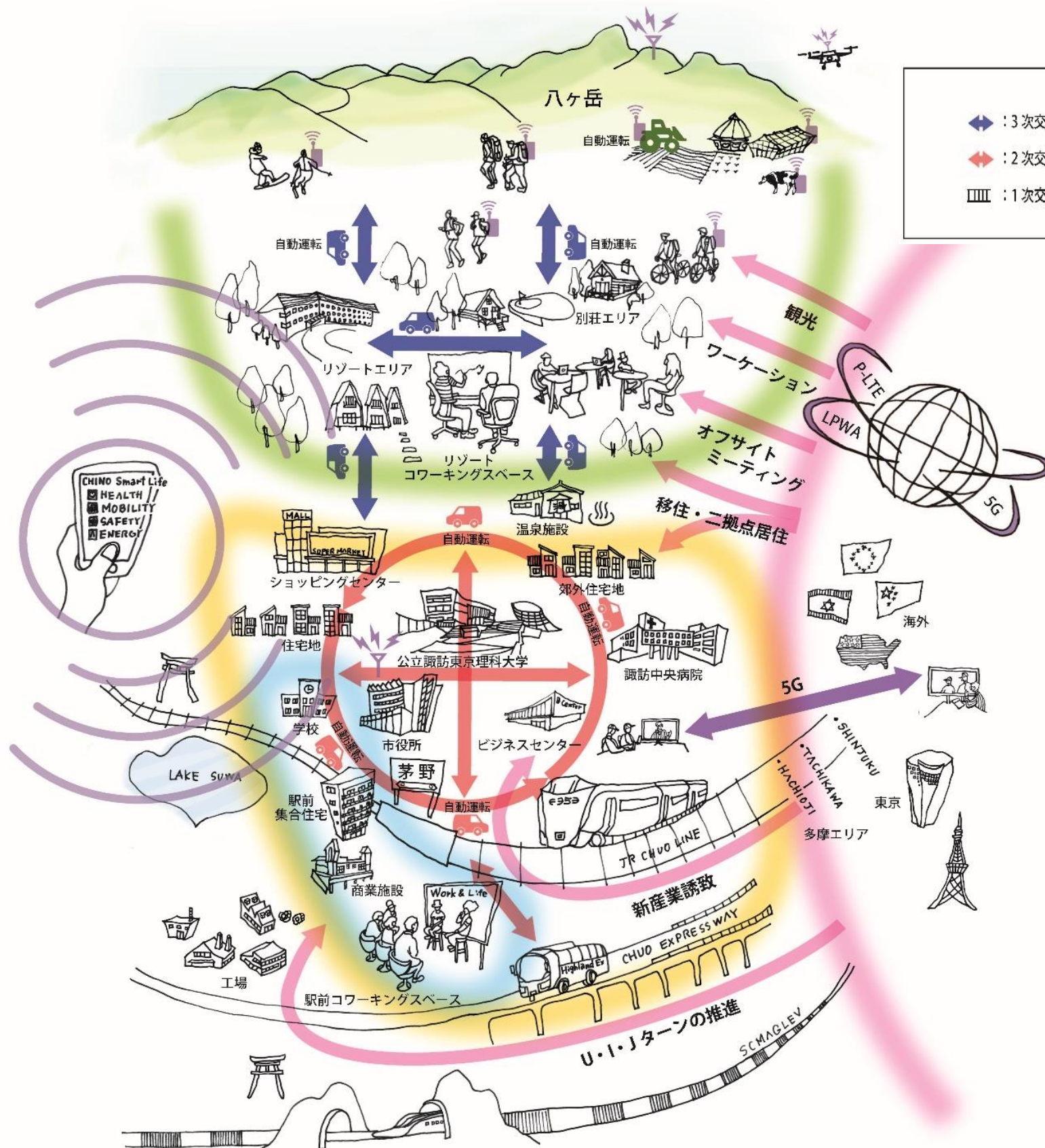
||

「アフターコロナ社会」、「新しい生活様式」という視点からも目指すべき方向

国事業を
積極活用

- ▶ スーパーシティ構想
- ▶ 日本版MaaS推進・支援事業
- ▶ 地方創生関連交付金
- ▶ SDG's関連事業
- etc

未来都市・茅野のイメージ



ご清聴ありがとうございました

